

# 青森県医師会 活動報告

平成30年10月20日（土）

日本医師会女性医師支援センター「北海道・東北ブロック会議」

常任理事 富山 月子

# 青森県医師会医師就労環境整備事業

## 男女共同参画委員会

- ・年2～3回開催
- ・委員：13名、青森県：オブザーバー1名  
担当役員：4名

## ワークライフバランス推進室

- ・旧) 女性医師支援室 (29年度から名称変更)
- ・男女共同参画委員会委員1名、担当役員3名
- ・運営会議を月に1回開催
- ・男女共同参画委員会の下部組織として、医師相談の受付、研修会の企画、ニュースレターの編集等を担う

# 主な支援事業

青森県委託事業  
(医師の働きやすい環境づくり支援事業)

## 医師相談窓口のご案内



青森県医師会では、お忙しい医師のために、  
保育情報サービスを提供しております。  
また、仕事と家庭の両立を支援するために、  
ワークライフバランス推進室の先輩医師がアドバイスをしていますので、  
男女を問わず、お気軽にご相談下さい。(相談範囲は青森県全域です)

平日のお電話は、月～金9:00～17:00に承っております。  
FAX・メールは、いつでも受付しておりますので、ご都合の良いお時間にご相談下さい。

### ご相談の流れ

#### 保育相談

毎日のことや緊急事態に備えて

- ・保育だけじゃなくて、家事も終わる所はないかな？
- ・病気の子を預かってくれるところは？
- ・早期出勤や遅くまで子どもを預かってくれる保育所を知りたい。
- ・ベビーシッターを探しているんだけど。
- ・子どもが熱を出した！でも勤務中は保育所にお迎えに行けない...
- ・転勤が決まった！勤務先に近い保育所を知りたい。
- ・突然、病院から呼び出しが！誰に子どもを頼んだらいい？
- ・急な当直や残業などに子どもを預かってくれる人を探しています。

※医師会では公的機関や民間事業所の情報をご提供しております。

#### お電話で

フリーダイヤル0800-800-1400へどうぞ！(平日9～17時)  
担当職員が対応いたします。  
内容に応じて、ご希望のお時間に事務員よりご回答いたします。

#### FAX・メールで24時間受付

いつでも、お時間のあるときに、ご相談いただけます。  
ご相談の受領後、事務局より回答いたします。



← ケータイ・スマホから、ホームページにアクセスできます！

#### 直接面談 (要予約)

電話・メール・FAXで予約。  
↓  
事務局が担当医師と日程調整します。  
↓  
県医師会館の面談室で医師がご相談に応じます。



#### 医師就業及び各種相談

もっと、自分らしく働き続けたい

- ・育児休業制度について知りたいんだけど。
- ・子供も大きくなったから私も復職したい。でも長く休んでしまったから自信がないなあ...
- ・県外から転勤してきただけけど、同じ職場に友達がいなくて...

#### お電話で

フリーダイヤル0800-800-1400へどうぞ！(平日9～17時)  
担当職員がご担当の医師へお取り次ぎいたします。  
内容に応じて、ご希望のお時間に担当医師よりご回答いたします。

#### FAX・メールで24時間受付

いつでも、お時間のあるときに、ご相談いただけます。  
ご相談の受領後、ご回答いたします。

※医師会加入の有無を問わず、医師であればどなたでもご相談できます。  
※お預かりした個人情報につきましては、ご本人様の同意なく第三者に開示する事はありません。



青森県委託事業  
(医師の働きやすい環境づくり支援事業)  
青森県医師会 医師相談窓口  
専用フリーダイヤル 0800-800-1400

〒030-0801 青森市新町2-8-21  
専用フリーダイヤル 0800-800-1400  
FAX 017-718-3152  
e-mailアドレス ishi-ouen@aomori.med.or.jp  
URL <http://www.aomori.med.or.jp/joseishi/index.html>  
担当:青森県医師会 総務経理課 野呂 正



## 研修会・講習会での 託児施設設置を サポートします

青森県医師会では、子育て中の女性医師が参加しやすい環境を整備するため、主催者に対し、託児施設設置を奨励し、その費用を助成いたします。

#### 【事業内容】

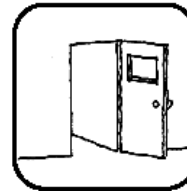
各種研修会・講習会等での託児施設設置にあたり、青森県医師会が主催者を代行し、その費用を負担します

- 1) 保育サポーターの手配と連絡
- 2) 傷害保険の契約に係る事務手続きと交渉

#### 対象となるのは...

県内で開催される研修会及び講演会で、青森県医師会が共催、後援するもの、および都市医師会が主催、共催、後援するもの

#### 助成する内容



託児室設置費用



育児サポーター費用  
(日当・交通費)



傷害保険料

- 1) 託児室設置にかかる費用
- 2) 保育を依頼する育児サポーターに係る費用(日当・交通費)
- 3) 託児を受ける子どもに対する傷害保険料  
(傷害保険)(株)損保ジャパン/日本興亜と青森県医師会との保険契約(記名式保険)  
保障内容:死亡・高度障害3,000万円、入院4,000円、通院2,000円

#### 助成の申込み方法

所定の後援申請書の助成申し込み欄に記入し、直接または都市医師会を經由して青森県医師会に提出して下さい。  
※申請書は青森県医師会にご請求下さい。



お問い合わせ先  
030-0801 青森市新町2-8-21  
青森県医師会事務局 総務経理課  
TEL 017-723-1911  
FAX 017-773-3273

# 医師相談窓口受付数 (平成29年度)

## ○医師相談・・・8件

その他懇談・相談受付・・・31件

研修医との懇談会・地域医師会主催研修医歓迎会・

医学生・研修医のためのキャリアサポートセミナー等

## ○保育相談・・・1件

# 研修会等での託児室設置補助

## ▶ 平成29年度

申請数：10件（助成数：5件）

対象：県内で開催される研修会及び講習会で、青森県医師会が共催、後援するもの  
および、郡市医師会が主催、共催、後援するもの

補助内容：会場に設置した託児室の費用、保育を依頼するサポーターに係る費用  
託児を受ける子どもに対する傷害保険料

# ワークライフバランス推進室 News Letter

## 「赤いりんご」

青森県医師会ワークライフバランス推進室 News Letter  
 フレーフレッドクター  
 平成30年度  
 医学生・研修医のためのキャリアサポートセミナーは  
 12月1日(土)に開催致します！

第 45号  
 2018. 10. 15発行

9月8日、野木和公画の花壇  
 撮影：青森市 新渡戸剛先生

青森県医師会ワークライフバランス推進室 News Letter  
 赤いりんご vol.45

### 平成30年度青森地域研修医歓迎会

平成30年5月28日(月)午後7時00分から、アップルパレス青森 ねぶたの間で開催されました。

平成26年に第1回目の歓迎会を行ってから、今年で5回目となります。はじめに青森市医師会 成田祥泰会長から「これから研修医の皆さんとは地域医療の連携をとっていくことになります。本日は短い時間ではありますが、先生方の話を伺いたいと思います。医師会とはどういうことをやっているのか、また医師会の会員の先生方とどういふふうにご連携を取ってほしいかを考える機会としていただければと思います」とご挨拶がありました。

続いて青森県立中央病院副院長 高橋賢一先生と青森市民病院副院長 豊木嘉一先生からご挨拶を頂きました。続いて研修医の先生方には壇上に上がって頂き、県立中央病院の先生、次に市民病院の先生の順で、自己紹介をしていただきました。今年度は、県立中央病院の16名と、青森市民病院10名の研修医の先生方(男性14名、女性12名)に青森市医師会へ入会いただきました。

続いて、青森県医師会常任理事 富山月子先生からは、女性医師支援として働きやすい職場を常に考えているので、男女問わずに皆様からご意見を頂いて県医師会男女共同参画事業を良い方向に持って行きたいとの話や、また「医師会員のためのガイドブック」についてのお話をさせていただきました。最後に青森市医師会議長 田辺和彦先生からは、県立中央病院、青森市民病院の沿革のお話の後、乾杯のご発声があり、懇親会に入りました。

1時間半の懇談の後、青森県医師会男女共同参画委員会委員 村岡真理先生から、県医師会医師相談窓口及び日本医師会女性医師バンクといったセーフティネットの説明と、青森県女医会第60回総会のご案内があった後、中絶のあいさつがあり、盛況のうちに終了致しました。

ご出席いただいた研修医の先生方のご活躍を期待致します。  
 (文責：青森市医師会庶務理事 川口 均)

青森県医師会  
 (医師の働きやすい環境づくり支援事業)  
 青森県医師会 医師相談窓口  
 専用フリーダイヤル：0900-800-1400  
 電話受付時間：月～金 9:00-17:00  
 FAX:017-718-3152  
 E-mailアドレス: info@amcc.or.jp



青森地域研修医歓迎会

日付	行事名
8/20(月)	第5回ワークライフバランス推進室運営会議
9/18(火)	第6回ワークライフバランス推進室運営会議
10/1(月)	青森県医師会臨床研修病院訪問(十和田市立中央病院)

青森地域研修医歓迎会

\*\*活動報告\*\*

ワークライフバランス推進室 News Letter  
 フレーフレッドクター  
 平成30年度  
 医学生・研修医のためのキャリアサポートセミナーは  
 12月1日(土)に開催致します！

第 44号  
 2018. 8. 15発行

9月8日、野木和公画の花壇  
 撮影：青森市 新渡戸剛先生

ワークライフバランス推進室 News Letter  
 赤いりんご vol.44

### 第1回男女共同参画委員会

9月20日(金)18:30より新委員が集まり、第1回男女共同参画委員会が開催されました。

1項として、医師相談窓口受付状況、研修病院訪問予定、託児施設助実績、日本医師会事業への協力、また、各郡市医師会主催研修会について報告されました。

2項として、今年度の男女共同参画事業、キャリアサポートセミナー、また相談窓口の運用等について協議しました。

3項として、新委員も新しくなり、弘前大学大学院医学研究科長の若林孝太郎委員長に、副委員長には富藤美貴先生が選任されました。県内働く環境改善のため、力を合わせて活動して参ります。



第1回男女共同参画委員会

日付	行事名
6/25(月)	第3回ワークライフバランス推進室運営会議
7/13(金)	第4回ワークライフバランス推進室運営会議
7/20(金)	第1回青森県医師会男女共同参画委員会

\*\*活動報告\*\*

ワークライフバランス推進室 News Letter  
 フレーフレッドクター  
 平成30年度  
 医学生・研修医のためのキャリアサポートセミナーは  
 12月1日(土)に開催致します！

第 43号  
 2018. 6. 15発行

中泊のキアシシギ  
 撮影：青森市 新渡戸剛先生

ワークライフバランス推進室 News Letter  
 赤いりんご vol.43

### 第1回弘前市医師会・弘前大学医師会 研修医歓迎会・医療懇談会

平成30年4月7日(土)17:30～、青森地区や八戸地区では地区毎の研修医歓迎会があるものの、弘前地区ではこれまで行われて来なかったものを初開催しました。

最初に、弘前市医師会会長、弘前大学医師会会長、弘前大学大学院医学研究科若林孝一医学研究科長にご挨拶を頂き、続いて、懇談会に入り、各10分で、医師会活動の紹介を3名の先生方にお預りました。『弘前市医師会の活動状況について』弘前市医師会会長今村憲市先生、『弘前地区在宅医療・介護連携支援センター「そよかせ」』とは弘前市医師会理事石澤誠先生、『弘前市急患診療所の運営について』弘前市医師会理事榑崎良樹先生、短時間でしたが、弘前市医師会の活動を知って頂く大変良い機会になったと思います。

懇親会は、最初に青森県医師会常任理事で男女共同参画委員会担当の富山月子先生にご挨拶頂き、「男女共同参画」の事、青森県医師会や日本医師会の取り組みを紹介して頂きました。懇親会は立食とし、歓談、臨床研修施設毎にご挨拶頂きました。弘前市立病院、健生病院、黒石病院、国立病院機構弘前病院、弘前大学医学部附属病院の順で紹介して頂きましたが、各施設とも研修医はもろろんのこと、病院長自らも参加していただきました。福田病院長からは、大学はたすき掛けで多くの研修医が1年目は他の臨床研修病院で研修している事、地域研修という形で1か月間市内の開業医で研修させて頂いている事、多くの施設で研修がされていることに対し感謝の言葉を頂きました。各科の教授や医学生にも参加して頂き、総勢59名でした。

弘前大学医師会加藤会長は研修医が大切にされていることを感じて欲しいし、その姿を医学生にも見せたいとおっしゃっていましたが、まさにそのような会にするのが出来て嬉しかったです。医師会活動を広げていくためにも、この地で研修医育てに皆が協力していくためにも、継続してこの会を開催していきたいと思えます。

(文責：弘前市医師会勤務医交流委員会担当理事、審議委員 藤 太郎 先生)



行事名

ワークライフバランス推進室運営会議
臨床研修医歓迎会(八戸市)
女共同参画フォーラム(高知県)
ワークライフバランス推進室運営会議
主催青森地域研修医歓迎会(青森市)

\*\*活動報告\*\*

ワークライフバランス推進室 News Letter  
 フレーフレッドクター  
 平成30年度  
 医学生・研修医のためのキャリアサポートセミナーは  
 12月1日(土)に開催致します！

第 42号  
 2018. 4. 15発行

「オジロワシ」十三瀬  
 撮影：青森市 新渡戸剛先生

ワークライフバランス推進室 News Letter  
 赤いりんご vol.42

### \*\*研修病院からこんにちは\*\*

#### ～ 青森市民病院のご紹介 ～

当院はICOMON diseaseからより専門的な疾患まで幅広く診療を行っており、救急車受け入れも年間2700年以上と青森医療圏の中でなくてはならない急性期医療機関です。様々な多くの症例を経験でき、研修医を中心とした症例検討会から院内での様々な研修会・講演会・ハンズオンセミナーがあり、勉強する機会もたくさんあります。また、年間を通して数々の院内イベントがあり、患者さんや他の医療スタッフと接する機会にも恵まれています。こんな青森市民病院で、現在1・2年生計18名が目キラキラさせて研修を行っています。

青森市民病院  
 木 嘉一先生



#### ～ 黒石市国民健康保険黒石病院のご紹介 ～

当院は黒石市の市立病院であると共に青森市浪岡、田舎館村、藤崎町、平川市と隣接し、これらの地区で失われつつあるフル稼働する二次救急病院として活動している。病床数は二百床程度の中規模病院であるが、年間一千台以上の救急車を受け入れ、大学病院とも連携して内科、外科、整形外科、脳外科のほぼ全範囲におけるゲート・キーパーの役割を果たしてきた。研修病院としては常勤医の全員が臨床研修指導医を取得し中小規模病院ならではの「誰に聞いても答えてくれる」指導体制を引いている。また訪問診療も続けており、臨床研修制度の原点であるプライマリ・ケアを十分に経験できる研修病院と自負している。今後もこのような医療、研修指導体制を進めるべく努力していきたい。

※写真は研修医の先生方です。

日付	行事名
2/14(水)	平成29年度女性医師支援事業連絡協議会(日本医師会館)
2/28(水)	第1回ワークライフバランス推進室運営会議
3/2(金)	地域における女性医師支援懇談会(八戸市)
3/22(月)	第12回ワークライフバランス推進室運営会議
4/7(土)	第1回弘前市医師会・弘前大学医師会 研修医歓迎会医療懇談会(弘前市)

\*\*活動報告\*\*

# 医学生・研修医のための キャリアサポートセミナー

平成29年度

平成29年12月10日（日）

シンポジウムテーマ

「私の選んだ道」

参加者33名

（医学生：10名、研修医：5名、医師：18名）

平成30年度

12月1日（土）開催





# 研修病院訪問

- 自己紹介
- 医師支援事業、医師相談窓口紹介
- 意見交換





# 大学との連携強化をめざして

- ・平成29年度弘前大学医師会との懇談会にて、「男女共同参画推進事業の連携について」をテーマに懇談
- ・男女共同参画委員会委員長に、弘前大学医学部長が就任



# 本県の医師支援の課題

## ▶ ニーズに即した支援の検討

- ・ 医師相談窓口の利用が少ない
- ・ 支援を必要とする医師、ニーズの把握

## ▶ 大学との連携強化